11月は、「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」期間です。

愛知県の児童相談所（名古屋市を除く）における2025年度の児童虐待相談対応件数は、7,539件（前年度比103.4%）となり、前年度に引き続き増加し、過去最多件数を更新しました。

本県に限らず、全国的にみても児童虐待相談対応件数は高止まりの状況が続いており、児童虐待問題が、各家庭の問題として捉えられるのではなく社会的な問題として認識されていくことが重要です。

そうした中で、こども家庭庁は11月に、「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、家庭や学校、地域等の社会全般にわたり、児童虐待問題に対するより深い関心と理解を得ることができるよう、児童虐待防止のための広報・啓発活動に集中的に取り組むこととしています。



子ども虐待防止
オレンジリボン運動

本県においても、その期間に、県内各所において児童虐待防止に関連した広報・啓発活動を実施します。

189（いちはやく）
児童相談所虐待対応 3桁ダイヤル
お住まいの地域の児童相談所につながります。

児童虐待かも？と思ったら、ためらわずお電話ください。
連絡は匿名で行うことも可能です。
連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます。

親子のための相談LINE【受付日時：毎日10時から20時まで】

子ども（18歳未満）とその保護者の方などが、子育ての不安や親子関係の悩みなどをLINEから相談できます。お気軽にご相談ください。



12月1日は「世界エイズデー」です。

世界エイズデーは、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO（世界保健機関）が1988年に制定したもので、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

愛知県では世界エイズデーを含む一週間を「エイズ予防強化週間」と位置づけ、2026年11月28日（土）には、イオンモール常滑でエイズ予防強化週間ポスター入賞作品の展示などエイズ予防啓発キャンペーンを実施 します。

※詳細はアイチエイズインフォメーションで御確認をお願いします。
URL:https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/aids-nettop.html



2025年度
世界エイズデー
キャンペーンポスター



2025年度
愛知県エイズ
ポスターコンクール
受賞作品

HIV(エイズの原因となるウイルス)に感染しても、適切な治療を受けることで、社会生活を続けていくことが出来ます。この機会にぜひイベントに参加していただき、HIVやエイズについて一緒に学んでみませんか。



一人一人の心に「レッドリボン」を

“レッドリボン”は、古くからヨーロッパに伝承される風習のひとつで、もともと病気や事故で人生を全うできなかった人々への追悼の気持ちを表すものでした。現在はUNAIDS（国連合同エイズ計画）のシンボルマークにも採用されている、エイズに対する理解と支援の象徴です。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズと共に生きる人々を差別しないというメッセージです。

よくある誤解・思い込み

- ✕ 握手や会話で感染する。
- ✕ お風呂やプールに一緒に入ると感染する。
- ✕ せきやくしゃみで感染する。
- ✕ 便座や食器、タオルなど日用品の共用で感染する。
- ✕ 血を吸った蚊やダニなどに刺されることで感染する。

正しい知識

- ○ HIVの感染経路は性的接触、血液感染、母子感染の3つに限られ、日常生活の接触では感染しません。
- ○ 治療薬の開発により、HIVに感染しても、早期発見と早期治療によって、エイズの発症を抑えることができます。
- ○ 近年は、性的接触での感染が増えています。特定のパートナーであっても、感染のリスクがないとは限りません。HIVはだれにとっても身近な問題です。

北朝鮮による人権侵害問題に対する認識を深めましょう



12月10日から16日までは「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。

拉致問題は、我が国の喫緊の国民的課題であり、この解決を始めとする北朝鮮による人権侵害問題への対処は国際社会を挙げて取り組むべきものです。

このことについての関心と認識を深めることが求められています。

※ポスターの図柄は2025年度のものです。